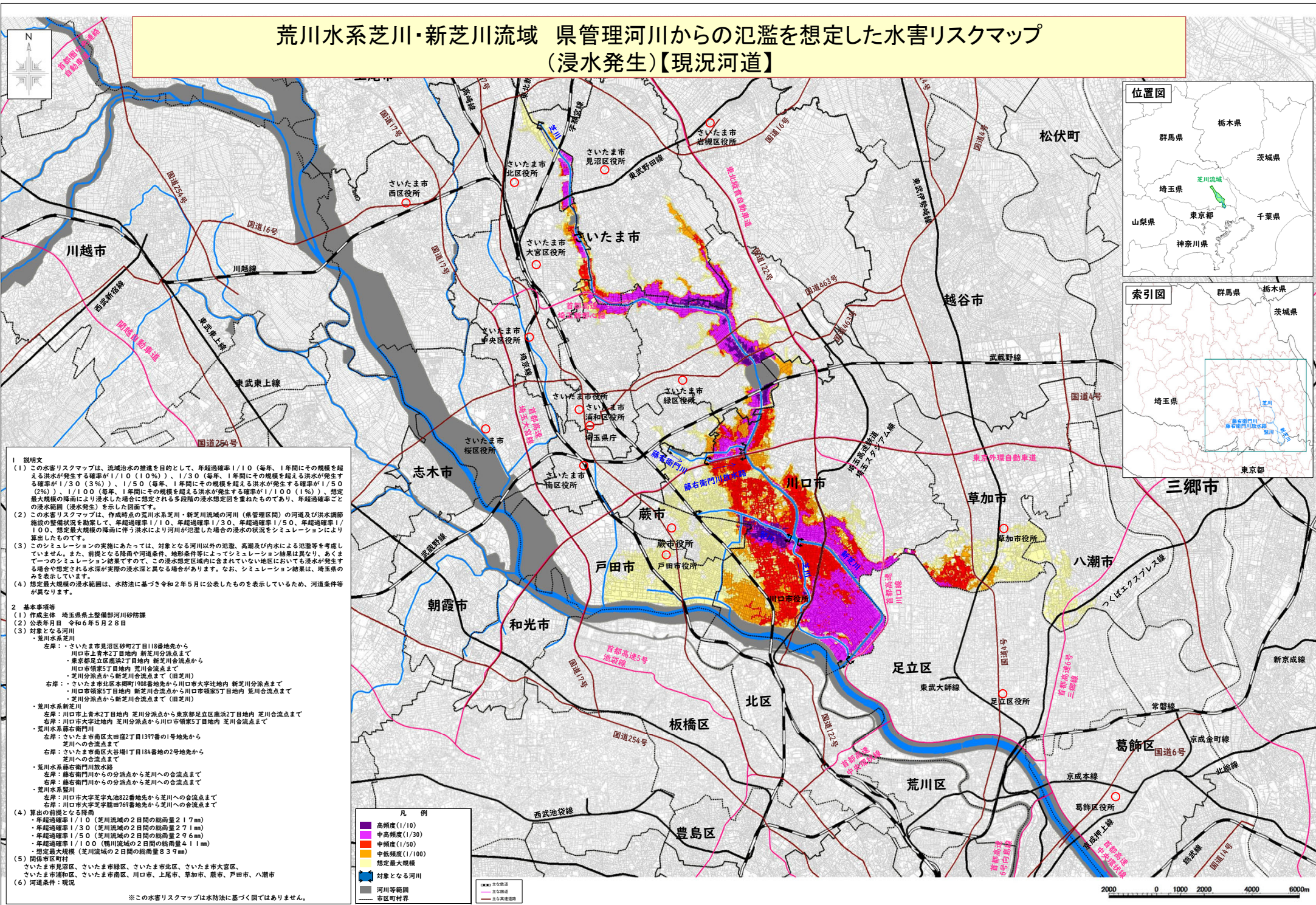


# 荒川水系芝川・新芝川流域 県管理河川からの氾濫を想定した水害リスクマップ (浸水発生)【現況河道】



**1 説明文**

(1) この水害リスクマップは、流域治水の推進を目的として、年超過確率1/10（毎年、1年間にその規模を超える洪水が発生する確率が1/10（10%））、1/30（毎年、1年間にその規模を超える洪水が発生する確率が1/30（3%））、1/50（毎年、1年間にその規模を超える洪水が発生する確率が1/50（2%））、1/100（毎年、1年間にその規模を超える洪水が発生する確率が1/100（1%））、想定最大規模の降雨により浸水した場合に想定される多段階の浸水想定図を重ねたものであり、年超過確率ごとの浸水範囲（浸水発生）を示した図面です。

(2) この水害リスクマップは、作成時点の荒川水系芝川・新芝川流域の河川（県管理区間）の河道及び洪水調節施設の整備状況を勘案して、年超過確率1/10、年超過確率1/30、年超過確率1/50、年超過確率1/100、想定最大規模の降雨に伴う洪水により河川が氾濫した場合の浸水の状況をシミュレーションにより算出したものです。

(3) このシミュレーションの実施にあたっては、対象となる河川以外の氾濫、高潮及び内水による氾濫等を考慮していません。また、前提となる降雨や河道条件、地形条件等によってシミュレーション結果は異なり、あくまで一時的なシミュレーション結果ですので、この浸水想定区域内に含まれていない地区においても浸水が発生する場合や想定される水深が実際の浸水深と異なる場合があります。なお、シミュレーション結果は、埼玉県のみを表示しています。

(4) 想定最大規模の浸水範囲は、水防法に基づき令和2年5月に公表したものを表示しているため、河道条件等が異なります。

**2 基本事項等**

(1) 作成主体 埼玉県県土整備部河川砂防課  
 (2) 公表年月日 令和6年5月28日  
 (3) 対象となる河川  
 荒川水系芝川  
 左岸：さいたま市見沼区砂町2丁目118番地先から川口市上青木2丁目地内 新芝川分派点まで  
 ・東京都立区荒川2丁目地内 新芝川合流点から川口市領家5丁目地内 荒川合流点まで  
 ・芝川分派点から新芝川合流点まで（旧芝川）  
 右岸：さいたま市北区本郷町1908番地先から川口市大学辻地内 新芝川分派点まで  
 ・川口市領家5丁目地内 新芝川合流点から川口市領家5丁目地内 荒川合流点まで  
 ・芝川分派点から新芝川合流点まで（旧芝川）  
 荒川水系新芝川  
 左岸：川口市上青木2丁目地内 芝川分派点から東京都足立区鹿2丁目地内 芝川合流点まで  
 右岸：川口市大学辻地内 芝川分派点から川口市領家5丁目地内 芝川合流点まで  
 荒川水系新芝川  
 左岸：さいたま市南区太田窪2丁目1397番の1号地先から芝川への合流点まで  
 右岸：さいたま市南区大谷場1丁目184番地の2号地先から芝川への合流点まで  
 荒川水系新芝川  
 左岸：蕨市南川1丁目1番地先から芝川への合流点まで  
 右岸：蕨市南川1丁目1番地先から芝川への合流点まで  
 荒川水系新芝川  
 左岸：蕨市南川1丁目1番地先から芝川への合流点まで  
 右岸：蕨市南川1丁目1番地先から芝川への合流点まで  
 荒川水系新芝川  
 左岸：川口市大学芝字丸池822番地先から芝川への合流点まで  
 右岸：川口市大学芝字丸池822番地先から芝川への合流点まで

(4) 算出の前提となる降雨  
 ・年超過確率1/10（芝川流域の2日間の総雨量217mm）  
 ・年超過確率1/30（芝川流域の2日間の総雨量271mm）  
 ・年超過確率1/50（芝川流域の2日間の総雨量299mm）  
 ・年超過確率1/100（荒川流域の2日間の総雨量411mm）  
 ・想定最大規模（芝川流域の2日間の総雨量839mm）

(5) 関係市区町村  
 さいたま市見沼区、さいたま市緑区、さいたま市北区、さいたま市大宮区、さいたま市南区、さいたま市浦和区、さいたま市土居区、川口市、土居区、草加市、蕨市、戸田市、八潮市

(6) 河道条件：現況

※この水害リスクマップは水防法に基づく図ではありません。

※この地図は、国土地理院長の承認を得て、同院発行の基礎地図を作成したものである。（測量法に基づく国土地理院長承認（使用）R2JHs 60）